

PBA

チャレンジ Challenge!!

2018 夏

一般財団法人
太平洋放送協会(PBA)

夏期特別献金のお願い

さあ、福音を伝えよう



一般財団法人
太平洋放送協会

理事長 矢木良雄

恵みの雨に潤され、そして夏を迎えようとしております。皆さまいかがお過ごしでしょうか。いつもPBAの働きを覚えてお祈りくださり、ありがとうございます。心から御礼を申し上げます。また、尊い献金をもってお支えくださる皆さまに、神さまからの豊かなご祝福がありますように、スタッフ一同お祈りいたしております。

*

イエスは彼らに言われた。「さあ、近くにある別の町や村へ行こう。わたしはそこでも福音を伝えよう。そのために、わたしは出て来たのだから。」

(マルコの福音書 1 章 38 節)

とてもチャレンジングなみことばです。場所はガリラヤ湖の岸辺にあるカペナウムの町です。ここにはペテロとアンデレの家がありました。湖畔の小さな町、聞いただけで穏やかな心安らぐ情景が目に浮かびます。ずっとここにいたいと思うほど居心地の良さが漂っていたのでしょう。

そんなペテロたちに、翌朝早く、祈っておられた主から語られたのがこのみことばです。まるで私たちに言われたのではないかと思うほど、ドキッとするみことばです。

主は「さあ」とおっしゃいます。立ち上がる時が来たというのです。今がその時だと。私どもPBAも、多様化した社会の必要に応えるために、新しいこと

にチャレンジするように、主から促されているように感じています。どうすれば主が願っておられるように福音を届けることができるのか。PBAが誕生した時から、変わる事のない使命です。一方で、主がおっしゃる「そこでも福音を伝えよう」というまだ福音が伝えられていない「そこ」に、どうすれば届くことができるのか、「さあ、やっばら」と主から言われているように感じます。

今年の秋、9月25日から27日まで、「2018全国放送伝道会議」を東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催します。全国の放送伝道協力会から代表者の方々にお集まりいただき、祈りの時、分かち合いの時とともに、今後の放送伝道のあり方を語り合うことになっています。まさに「そのために、わたしは出て来たのだから」と、主がこの会議を導いてくださることを願っております。

*

期待をもって見守ってくださる皆さまに、今年も「夏期特別献金」のお願いを申し上げます。みことばのチャレンジを受けて、私どもも福音をお伝えするために、主といっしょに出かけようとしています。皆さまと共に、「別の町や村へ」福音を届けることができますように、ご協力いただければ、これに勝る喜びはありません。皆さまへ主のご祝福をお祈り申し上げます。

2017年 夏期特別献金、2017年 冬期特別献金のご報告

放送伝道特別献金のお願いに対し、たくさんの方々から尊いお祈りとお献げものを賜り、心より感謝申し上げます。

2017年度の夏期特別献金、冬期特別献金は、このように献げられました。

【2017年度 夏期特別献金】6,002,837円（598件）

【2017年度 冬期特別献金】7,893,829円（748件）

PBAの必要のほとんどは、多くのスポンサー企業というよりも、教会や個人パートナーの皆さまの尊い犠牲により支えられてまいりました。お献げくださる方々は必ずしもゆとりのある方ばかりではなく、献金の払込取扱票（振替用紙）に添えられたコメントをお読みしますと、年金生活、介護生活の方、被災地域にお住いの方をはじめ、困難の中にいらっしゃる方がむしろ多いように感じます。ご自身が闘病中であっても、祈りの課題として未信者の友人やご家族の名前を毎回書かれる方も少なくありません。そのような信仰の方々を支えていただき、少子高齢化も進む中で、2017年度、この数年間の中でも特に多くの特別献金が寄せられました。主の憐みと、皆さまの犠牲に心より感謝申し上げます。

私どもは、その尊い献金を神様からお預かりしていることを真摯に受け止め、今後も精一杯取り組んでまいります。御旨に叶った思いと行いをもってお仕えることができますように、どうかお祈りください。そして、一人でも多くの方が福音に触れ、教会に繋がることができるように、日本全国の教会が聖霊の働きによって建て上げられていくために、これからもこの働きをお支えくださいますようお願い申し上げます。

(PBAパートナー係)

皆様のお便りや払込取扱票に添えられたコメントの一部を、感謝をもってご紹介させていただきます。

献金を同封します。主の御用にお役立てください。PBAのことは毎日祈っています。

神さまにささげることで私も支えられ感謝に思っています。今年はきちんとささげます。

主人が休職中でわずかしかお捧げできず申し訳ありません。

尊いお働きを感謝します。「ライフ・ライン」を、ノンクリスチャンの父が初めて観てくれました。感謝です!!

わずかな献げものですが感謝を込めてお献げします。お働きが祝福されますようお祈りいたします。

主の御心に添ってお用ください。ご奉仕感謝しております。祈っております。

尊いお働きのためにお祈りしています。「でんわ世の光」を友人にすすめたら喜んで聴いてくれています。

いつも放送ありがとうございます。数年前にいただいたPBA祈りのカードを用いて毎朝祈っています。

私も「世の光」のラジオをきいて教会に招かれ救われました。このような奇蹟が多くの方にあらわされますようお願いを込めて。

乏しい年金により生活していますが、ささやかな献金をさせていただきます。主にありて。

お祈りください

この働きが続けられるために、どうぞ、さらなるお祈りをお願いいたします。

1. PBAのために

- 主の栄光のために教会に仕えることができるように。人材、財政が整えられ、主からの知恵と力によって歩むことができるように。
- 教会の福音宣教に用いられる番組を作ることができるように。
- スタッフ、メッセンジャー、その家族、それぞれが所属する教会のために。
- 9月25日から開かれる「2018全国放送伝道会議」の準備が守られ、実り豊かな時となるように。またその後の歩みのために。

2. 放送伝道協力会のために

- 全国にある31の協力会の経済的必要が満たされ、教会に働きの実が与えられるように。
- 各地に協力教会が与えられるように。
- 各地に立てられているフォロアップ担当者に日々力が与えられ、リスナー・視聴者への良いフォローができるように。

3. 視聴者・リスナーのため

- 多くの方が番組を聴き、見ることができるように。
- 放送を通してでなければ福音に触れられない方々に福音が届くように。
- 番組を通して聖書に興味を持ち、地域教会へ繋がる方が起こされるように。
- 福音を信じることや、福音に生きようとする方々の様々な障害が取り除かれるように。

4. PBAパートナーのため

- 放送伝道のために祈り支えてくださっている方々の日々の生活が守られるように。
- ご家族、ご友人への伝道のために、番組が用いられ、救われる方が起こされるように。
- 新たにパートナーとなってくださる方が与えられるように。

共に放送伝道をお支えください。

献金はこちらからお祈りします。

■ゆうちょ銀行 振替口座 00190-0-17121 一般財団法人 太平洋放送協会
■ゆうちょ銀行 〇一八（読み ゼロイチハチ）(店番018) 普通預金 2249841 一般財団法人 太平洋放送協会
■みずほ銀行 九段支店 (店番532) 普通預金 1618687 一般財団法人 太平洋放送協会
■WEB献金 (Paypal、クレジットカード) www.pba-net.com/partner
※お問い合わせ・振り込みのご連絡は、PBAパートナー係 (Tel.03-3295-4921)まで